

海外安全対策情報（2024年4月～6月）

在バルセロナ日本国総領事館

1 社会・治安情勢

5月12日、カタルーニャ州議会選挙が実施され、与党のカタルーニャ共和左派（ERC）が大敗を喫した。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) スペイン内務省が発表した最新の犯罪統計によれば、2024年第1四半期における同国内での刑法犯認知件数（一般街頭犯罪及びサイバー犯罪の総数）は60万6,895件で、前年同時期と比べ3.2%の増加となった。

サイバー犯罪を除く州別の刑法犯増減率では、カタルーニャ州で2.7%、バレンシア州で2.8%と各々増加した一方、バレアレス州では0.8%の減少となった。

すりや置き引きと比較した場合、首絞め強盗のように被害者を負傷させる犯罪の発生は少ないが、機械式高級腕時計を狙った強盗事案やキックボード等を使用したひったくり事案は依然として散見されることから、犯罪被害のターゲットとならぬよう注意が必要である。

(2) 一般街頭犯罪のほか、スペイン内務省では、引き続きインターネット上でクレジットカードや銀行の暗証番号等の情報を盗み取る電子詐欺が近年特に増加しているとして注意を呼びかけている。クレジットカード情報や銀行の口座情報を安易にネット上でやりとりしない、不審なメールは開かず、安易にリンクをクリックしないなどの注意が必要である。

(3) 各州及びバルセロナ市の2024年第1四半期における犯罪発生状況は以下のとおり。（スペイン内務省発表。増減率は前年同時期との比較）

●カタルーニャ州の犯罪発生状況（2024年第1四半期）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗	侵入窃盗	すり・置き引き	自動車盗
2024年	17件	54件	894件	2件	915件	5,854件	6,709件	39,585件	1,888件
増減率	-5.6%	-1.8%	+3.6%	±0%	+4.0%	-3.3%	-9.7%	-5.6%	-6.3%

●バルセロナ市の犯罪発生状況（2024年第1四半期）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗	侵入窃盗	すり・置き引き	自動車盗
2024年	5件	5件	222件	1件	264件	2,918件	1,842件	19,376件	626件
増減率	+25.0%	-44.4%	+24.0%	±0%	+10.0%	-12.6%	+0.9%	-11.2%	-21.8%

●バレンシア州の犯罪発生状況（2024年第1四半期）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗	侵入窃盗	すり・置き引き	自動車盗
2024年	21件	34件	813件	3件	521件	1,508件	4,763件	17,681件	805件
増減率	+162.5%	-5.6%	15.0%	±0%	+5.9%	+2.7%	-2.0%	-2.9%	+8.6%

●バレアレス州の犯罪発生状況（2024年第1四半期）

	殺人	殺人未遂	傷害	誘拐	性犯罪	強盗	侵入窃盗	すり・置き引き	自動車盗
2024年	0件	5件	233件	2件	160件	256件	675件	3,399件	335件
増減率	±0%	±0%	-0.9%	+100.0%	-9.6%	-5.2%	+7.0%	-7.5%	-11.1%

(4) 邦人被害発生状況

ア 2024年4月から6月までの間、当館で認知した邦人被害に係る各種犯罪の合計は57件であった。新型コロナウイルス禍後の旅行者回復傾向もあり、前年の同時期と比較して41件増加した。

イ 罪種別では、「すり（ケチャップすりを含む）」及び「置き引き」が多く、全体の70%以上を占めている。被害場所については、以下のとおり。

飲食店内	28.0%	（特に、観光地直近のファストフード店内）
路上・広場	17.5%	
駅・電車内	17.5%	
観光地	12.0%	
空港内	10.5%	

ウ 当館に被害の届け出を行わない邦人も多数いると考えられ、実際には上記の数倍程度の被害が発生しているとみられる。

3 最近の邦人の被害事案

(1) 強盗

・路上を歩いていたところ、機械式高級腕時計を一瞬のうちに強奪された。

(2) ひったくり

・路上を歩いていたところ、キックボードに乗った若者が近付いてきて、あっという間に所持品をひったくられた。

(3) 置き引き

・ファストフード店内で食事中、鞆を椅子の背もたれに掛けていたところ、気が付いたらなくなっていた。

・レストラン店内で食事中、そばを通りかかった観光客風の女性に「美味しそうですね」等と声を掛けられ、対応していたところ、テーブル上に置いていた貴重品がなくなっていた。

・レストラン店内で一緒に食事をしていた友人に荷物の管理を任せてトイレに行

った。5分後に戻ってきたところ、荷物がなくなっていた（友人も、スマートフォンに夢中で気が付かなかったと考えられる）。

・バルセロナ空港ターミナルビル内において、ベンチに荷物を置いた状態で5メートル先の充電スポットに行き、すぐに戻ったが、既に荷物がなくなっていた。

(4) すり

・交通機関での移動中や買い物中、気が付かないうちに所持品から貴重品類が抜き取られていた。

・地下鉄の改札を通り抜けようとしたところ、若い男2名がぶつかってきて、そのまま横を通り抜けた。思いっきりぶつかられたので不審に思ったところ、ポシェットに入れていた貴重品が盗まれていた。

・路上を歩いていたところ、男性に服が汚れていると声をかけられた。偶然、近くを通りかかった人がティッシュを渡してくれたので、服を脱いで汚れを拭き取っている際、地面に置いていたバックを盗まれた（ティッシュを渡した人物については、共犯者と思われる）。

(5) パンク盗

・サグラダファミリア近くの駐車場から車で出発した際、パンクに気が付いたことから、車を路肩に止めてタイヤを確認していたところ、車内に置いていた貴重品を盗まれた。

・レンタカーで高速道路を走行中、一台の車が後ろから猛スピードで近付き、身振り手振りで路肩に車を止めるよう指示された。車を止めたところ、男が運転席に近付き、「後ろから煙が出ているから確認しろ」と言われ、車外に出た。その後、何かを言い残して現場から猛スピードで立ち去ったことから不審に思っていると、車内から貴重品がなくなっていることに気が付いた（車外で被害者の注意を引きつけている間、共犯者が貴重品を窃取したと考えられる）。

4 テロ・爆弾事件発生状況

- (1) 2024年4月から6月までの間の発生はなし。
- (2) スペイン内務省は、テロ警戒レベルを「レベル4（高い脅威）」（全5段階）を維持しており、治安当局によるテロ対策が強化されている。
- (3) スペインにおけるテロ情勢詳細については、以下リンク（「スペインにおけるテロ・誘拐情勢」）参照。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_161.html

5 誘拐・脅迫事案

2024年4月から6月までの間に邦人被害の事件は認知していない。

6 日本企業の安全対策に対する諸問題

2024年4月から6月までの間に日本企業を対象とした各種事件や安全対策に対する諸問題は認知していない。